

ボードレス・アート の ミュージアムNO-MAの とく 取り組みについて

しがけん しゃかいふくしじぎょうだん きかくじぎょうぶ
滋賀県社会福祉事業団企画事業部

しょうがいしゃ げいじゅつかつどう しえん すいしん
2013.6.11 障害者の芸術活動への支援を推進
こんだんかい だい かい しりょう
するための懇談会(第1回)資料

のま ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

しがけん おうみはちまんし ふる みん か かいそう へいせい ねん かい かん
滋賀県近江八幡市の古い民家を改装して平成16年開館



じようめんげん かん
NO-MA 正面玄関



かいでん じ しつ おど さいぼう
1階展示室「踊る細胞」
でん じ ふうけい へいせい ねん
展示風景（平成25年）



かいでん じ しつ
2階展示室
「スーパー・ワールド・オン・ペーパー」
でん じ ふうけい へいせい ねん
展示風景（平成25年）

しょうがい う む こ ひと も ひようげん
障害の有無を超えて、人が持つ「表現をすること
の普遍的な力」を感じていただく場
⇒ひとりひとりが多様な価値観を認め、共有しあ
えるきょうせいしやかい じつげん きよ
共生社会の実現に寄与する。

運営法人内におけるNO-MAの位置づけ

しゃふく しがけん しゃかいふくしじぎょうだん
(社福)滋賀県社会福祉事業団

りじかい
理事会

ほん ぶ じむきょく
本部事務局

ひょうぎいんかい
評議員会

そうむぶ
総務部

ふくし
福祉
けいえいぶ
経営部

きかく
企画
じぎょうぶ
事業部

とく べつ よう ご ろう じん じ ぎょう しょ
特別養護老人ホーム 2事業所

よう ご ろう じん じ ぎょう しょ
養護老人ホーム 3事業所

けい ひ ろう じん じ ぎょう しょ
軽費老人ホーム 1事業所

にん ち しょうたい おうがた じ ぎょう しょ じ ぎょう しょ
認知症対応型デイサービス事業所 2事業所

きゅう ご し せつ じ ぎょう しょ
救護施設 1事業所

しょう がい しゃ し えん し せつ じ ぎょう しょ
障害者支援施設 6事業所

しょう がい じ にゅう しょ し せつ じ ぎょう しょ
障害児入所施設 1事業所

きょうどう せい かつ えん じょ きょうどう せい かつ かい ご じ ぎょう しょ
共同生活援助・共同生活介護 5事業所

し が けん ち いき せい かつ てい ちやく し えん
滋賀県地域生活定着支援センター

し が けん こう じ のう き のう しょうが い し えん
滋賀県高次脳機能障害支援センター

し が けん はつ たつ しょうが い しゃ し えん ほう ぶ なん ぶ
滋賀県発達障害者支援センター(北部・南部)※H25.7より

アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

運営法人内におけるNO-MAの位置づけ

本部事務局企画事業部

障害のある人の地域生活の推進を図るための先駆的サービスの
実践・開発を軸に、誰もが安心して地域で暮らすことの出来るシス
テムの構築を図ることを目的に平成 13 年度創設。

地域ケアサービス
推進事業
制度の狭間にあり
支援の手が伸び
ていない障害のある
人への必要な福祉
サービスをモデル的
に実践する。

地域ケアシステム
推進事業
相談支援体制整備の
改善と地域ケアシステム
が円滑に継続運営さ
れるよう、地域自立支
援協議会の事務局体
制及び委託相談支援
事業者の活動を支援
する。

芸術・文化促進事業
障害のある人の生み
出す表現の可能性を
世に広く伝える場を作
り、その魅力を発信す
る。

てんらんかい かいさい

展覧会の開催



の ま かいせつ きねん きか
NO-MA開設記念企画

わたし

わたし

私あるいは私

しず

ねん しょう けい

[静かなる燃焼系]

へいせい

ねん

がつ

にち

がつ

にち

平成16年7月3日〜9月20日

い とう よしひこ

いわさきつかさ

しょだいみやがわ

こうざん

伊藤喜彦/岩崎司/初代宮川香山/

たかみねただす もりむらやすまさ

高峰格/森村泰昌

の ま めいしょう
NO-MAの名称にもある、「ボーダレス・

てんらんかい はじ

アート」をコンセプトとした展覧会の始まり。

いこう ねんかん

ほん き かくてん

かいさい

以降、年間2〜4本の企画展を開催。



わたし てん じ ふうけい
私あるいは私 展示風景





かい そう ろう じん ろく

「快走老人録

お

か げき

老ヒテ マスマス 過激ニナル」

へい せい

ねん

が づ

に ち

が づ

に ち

平成18年9月16日～11月15日

か み お か

や す た ね

お

ば た

ま さ

お

か わ

の さ き こ

上岡安胤/小幡正雄/河野咲子/

と う ほ ん

は や し た

み ね い ち

み

ま つ

ま さ お

塔本シスコ/林田嶺一/三松正夫/

み や ま

え い

じ ろ う

宮間英次郎

い っ ぱ ん

し ょ う が い

さ く し ゃ

一般のアーティストと障害のある作者とい

こ う れ い

き

く ち

うことのみならず、「高齡」という切り口も

く わ

て ん

加えたボーダレス・アート展。



11:00 17:00

滋賀県施設合同企画展

いんぐ しょうがい ひと しんこうけい
ing・・・～障害のある人の進行形～

・^{し が けん ない}滋賀県内の^{しやうが い ふ く し}障害福祉サー^{じ ぎやう し ょ り}ビス事業所利用者の^{よう し や}
^{ぞう けい さ く ひん}造形作品を^{しやうかい}紹介する^{てんらんかい}展覧会。^{れいねん}(例年 20 ^{ぜんご}前後の
^{じ ぎやう し ょ}事業所が^{さんか}参加)

・参加事業所の職員からなる実行委員会が主体
となつて展覧会を企画・運営する。(NO-MAが
事務局を務めている)

・職員しよくいんの情報交換じようほうこうかんや交流こうりゅうの場ばとすることや人材じんざい育成いくせいも目的もくてきとしている。

・平成25年度第10回を迎える。今年度の参加施設は26施設(5月29日現在)



だい かい し が けん し せつごう どう き かく てん てん じ ふうけい
第9回滋賀県施設合同企画展 展示風景¹

こく がい だん たい れん けい じ ぎょう

国外団体との連携事業

こく がい に ほん

ひろ

国外での日本のアール・ブリュットの広がり

び じゅつ かん

アール・ブリュット・コレクション美術館(スイス)と

の ま

れん けい じ ぎょう

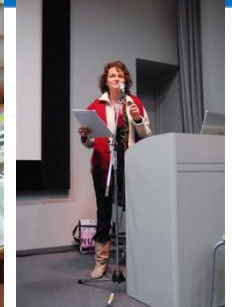
ボーダレス・アートミュージアムNO-MAとの連携事業

へいせい ねん ねん
【平成18年～20年】

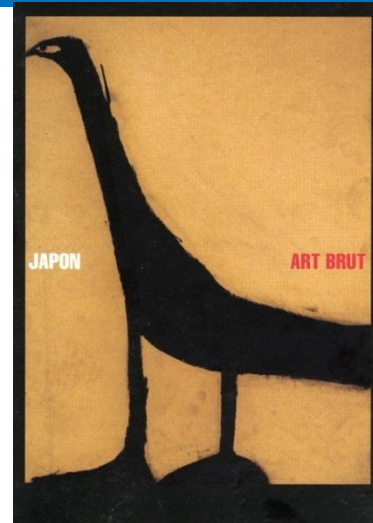


アール・ブリュット・コレクション
し
(スイス ローザンヌ市)

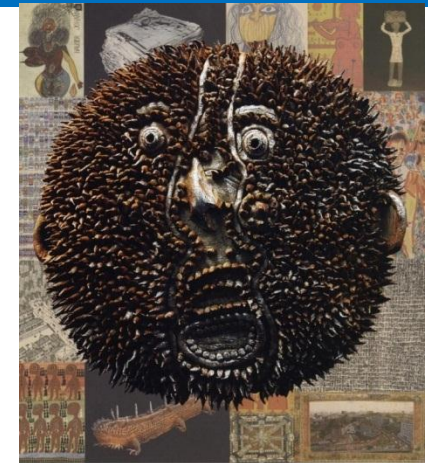
へいせい ねん かん ちょう らい にち くに ない さく ひん ちょう き など じっ し
平成18年 館長が来日し、国内の作品調査等を実施



へいせい ねん に ほん りょうこく き かく てん かい さい
平成20年 日本、スイス両国で企画展を開催



スイス ローザンヌ



アール・ブリュット/交差する魂
ローザンヌ アール・ブリュット・コレクションと日本のアウトサイダー・アート
The Encounter between the East and West Collection of l'Art Brut and Japanese Outsider Art

ほっかいどう し が とうきょう
北海道、滋賀、東京

れんけい じ ぎょう
この連携事業がきっかけとなり、
の ま
アール・ブリュットがNO-MAの
じ ぎょう はしら ひと
事業の柱の一つとなる。

ざい だん

れん けい

アロイズ財団(スイス)との連携

さく ひん

たいわ

こころ

やまい

ひょうげんしょうどう

かいさい

「アール・ブリュット作品との対話～心の病と表現衝動～」の開催

へいせい ねん がつ にち か がつ にち にち かいじょう の ま

平成21年2月3日(火)～5月10日(日) 会場:ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

どう てん どう きょう と

びじゅつかん

ほっかいどう

ほっかいどうりつ

あさひかわびじゅつかん

じゅんかい

※同展は、東京都(ワタリウム美術館)、北海道(北海道立旭川美術館)へ巡回



の ま かいじょう おとず
NO-MA会場を訪れるジャクリーヌ・

り じ ちょう か だ し が けん ち じ
フォレル理事長と嘉田滋賀県知事



し こう えん し が

ジャクリーヌ・フォレル氏の講演(滋賀)

び じゅつかん

てん らん かい

かい さい

フランスの美術館での展覧会の開催

てん

アール・ブリュット・ジャポネ展

かい き へいせい ねん がつ にち へいせい ねん がつ にち

会期:平成22年3月24日～平成23年1月2日

しゅ さい し りつ び じゅつかん

主催:パリ市立アル・サン・ピエール美術館

しゅってんしやう しゅってんさくひんすう にん と どう ふ けん てん

出展者数・出展作品数:63人(20都道府県)、778点



び じゅつかん
オープニングパーティー(美術館エントランス)



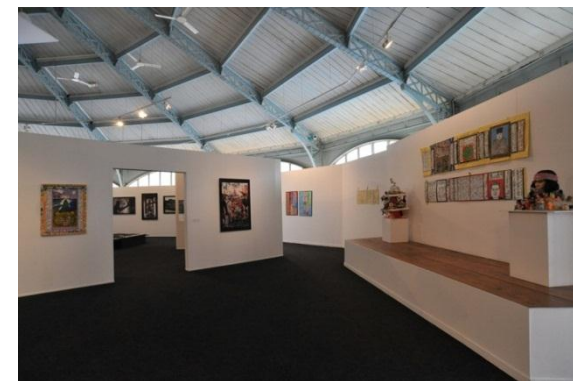
てん じ よう す
展示の様子



てん じ よう す
展示の様子



し がい けい じ
パリ市街に掲示されたポスター



かんらん しや すう やく まんにん¹⁵
観覧者数:約12万人

の ま にほんじむきょく おも やく わり NO-MAの日本事務局としての主な役割

しゅってん さっか ちょうせい
出展作家との調整

しゅってん さっか けん り ほ ご
出展作家の権利保護

しゅってん さくひん ゆ そう ちょうしょさくせい ほか
出展作品の輸送（調書作成他）

に ほん こく ない こう ほう
日本国内での広報

- 実行委員会の組織、運営
こうしき うんえい はっこう
- 公式サイトの運営、ニュースレターの発行
じ ぜん てんらんかい かいさい ほか
- 事前展覧会の開催 他

き ねん しゃ しん しゅう しゅっぱん
記念写真集の出版



しゅってんせつめいかい ぜん こく
出展説明会（全国
しょ かい じっし
18か所34回実施）



ちょうしょ さくせい
調書作成



だい かい じっこう い いんかい
第1回実行委員会
(2009. 7. 23)

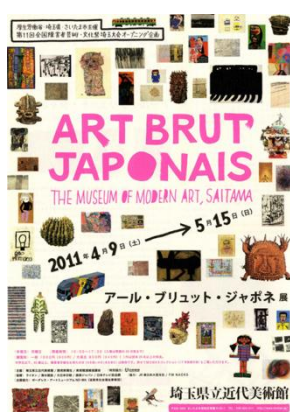
国内でのアール・ブリュットの広が^{ひろ}り

あつか てん らん かい ぞう か アール・ブリュットを扱う展覧会の増加

アール・ブリュット・ジャポネ 展の国内巡回

へいせい ねんど
平成23年度

- が がつ さいたまけんりつ きんだいびじゅつかん
・4月 埼玉県立近代美術館
が がつ にいがた し び じゅつかん
・7月 新潟市美術館



へいせい ねんど
平成24年度

- が がつ たかはま し さと
・4月 高浜市やきものの里
び じゅつかん
かわら美術館
が がつ いわ て けんりつ び じゅつかん
・6月 岩手県立美術館



へいせい ねんど
平成25年度

- が がつ こう ち けんりつ び じゅつかん
・4月 高知県立美術館
が がつ ふくおか し び じゅつかん
・10月 福岡市美術館
が がつ くまもと し げんだい び じゅつかん
・12月 熊本市現代美術館



へいせい ねんど
平成22年度

- が がつ ふくおか び じゅつかん
・3月 福岡アジア美術館
が がつ とくしょう と と せい
・11月 東京都 都政ギャラリー



へいせい ねんど
平成23年度

- が がつ せ と うち し りつ び じゅつかん
・8月 瀬戸内市立美術館
が がつ やかた
・10月 びんてまりの館



へいせい ねんど
平成24年度

- が がつ はまつ し び じゅつかん
・6月 浜松市美術館
が がつ ながの けんけんみんぶんか かいかん
・8月 長野県県民文化会館



アール・ブリュットをテーマ とした展覧会(一部)

アール・ブリュットを発信する美術館の開設



へいせい ねん の ま
平成16年 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
し が けん
(滋賀県)



へいせい ねん ひ じゅつかん いわて けん
平成19年 るんびに い美術館(岩手県)



平成23年 藁工ミュージアム(高知県)



へいせい ねん とも つ ひろしま けん
平成24年 鞆の津ミュージアム(広島県)



へいせい ねん ぴ じゅつかん きょうと ふ
平成24年 みずのき美術館(京都府)



へいせい ねんかいせつ よてい
平成25年開設予定
びじゅつかん ふくしまけん
はじまりの美術館(福島県)

アール・ブリュットネットワーク

平成25年2月10日設立

1 目的

美術、福祉、医療、研究機関、行政等の異なる分野や立場の人たちが連携して、アール・ブリュットを支える環境全体を底上げする。

2 役員

会長：青柳正規（独立行政法人国立美術館理事長・国立西洋美術館長）

副会長：末安民生（日本精神科看護技術協会 会長）

アール・ブリュットネットワーク 平成25年2月10日設立

3 会員数

541件（団体134件・個人407件）※平成25年5月17日現在

4 アール・ブリュットネットワーク設立記念フォーラム

アール・ブリュットネットワークの発足を記念し、設立記念フォーラムを開催。



発足式・設立記念フォーラム 320人が参加

かく じ ぎょう ささ と く
各事業を支える取り組み

こく ない さく ひん ちょう さ
国内作品調査

と どう ふ けん にん
36都道府県143人 (平成18年度～24年度)
へいせい ねんど ねんど

ほっかいどう 北海道	9人	あおもりけん 青森県	4人
いわてけん 岩手県	15人	あきたけん 秋田県	1人
やまがたけん 山形県	3人	ふくしまけん 福島県	6人
いばらきけん 茨城県	1人	とちぎけん 栃木県	8人
ぐんまけん 群馬県	2人	さいたまけん 埼玉県	1人
ちばけん 千葉県	1人	とうきょうと 東京都	12人
かながわけん 神奈川県	1人	にいがたけん 新潟県	3人
とやまけん 富山県	1人	いしかわけん 石川県	1人
ながのけん 長野県	5人	あいちけん 愛知県	2人
しがけん 滋賀県	16人	きょうとふ 京都府	2人
おおさかふ 大阪府	2人	ひょうごけん 兵庫県	5人
ならけん 奈良県	1人	ふくおかけん 福岡県	4人
とっとりけん 鳥取県	3人	しまねけん 島根県	1人
おかやまけん 岡山県	1人	ひろしまけん 広島県	6人
とくしまけん 徳島県	1人	かがわけん 香川県	1人
こうちけん 高知県	3人	ながさきけん 長崎県	3人
くまもとけん 熊本県	3人	みやざきけん 宮崎県	1人
かごしまけん 鹿児島県	3人	おきなわけん 沖縄県	1人

NO－MA アートディレクターや
福祉関係者、美術関係者に調査員を
依頼。NO－MA や調査員のネット
ワークから寄せられる情報等を基に
制作現場を訪問調査。その結果は
調査報告書にまとめられている。

こく がい さく ひん ちょう さ
国外作品調査

かん こく たいわん
韓国、台湾

かん こく へいせい ねんど
【韓国 平成21～22年度】



せいきんかん だいがく きょうじゅ じっけん
 成均館大学教授のコレクションを実見(ソウル)



せいしん じよし だいがく びじゅつがく ぶ ちょう う あ
 誠信女子大学美術学部長らと打ち合わせ
 (ソウル)

たい わん へいせい ねんど
【台湾 平成23～24年度】



たいほく し りつきょういくだいがく し かくげいじゅつけんきゅうじょ
 台北市立教育大学 視覚芸術研究所
 きょうじゅ き と ちょうさ たいほく
 教授への聞き取り調査(台北)



さくしゃ ちょうさ ようす
 アール・ブリュット作者の調査の様子
 (台北)



しょうがいしゃげいじゅつせんもん たいちゅう
 障害者芸術専門のギャラリー(台中)



こく りつ たいとうせいかつ び がく かんかんちょう き と
 国立台東生活美学館館長からの聞き取り
 たいとう
 (台東)

にっ かん ごう どう き かく てん かい さい へい せい ねんど

日韓合同企画展の開催(平成23年度)

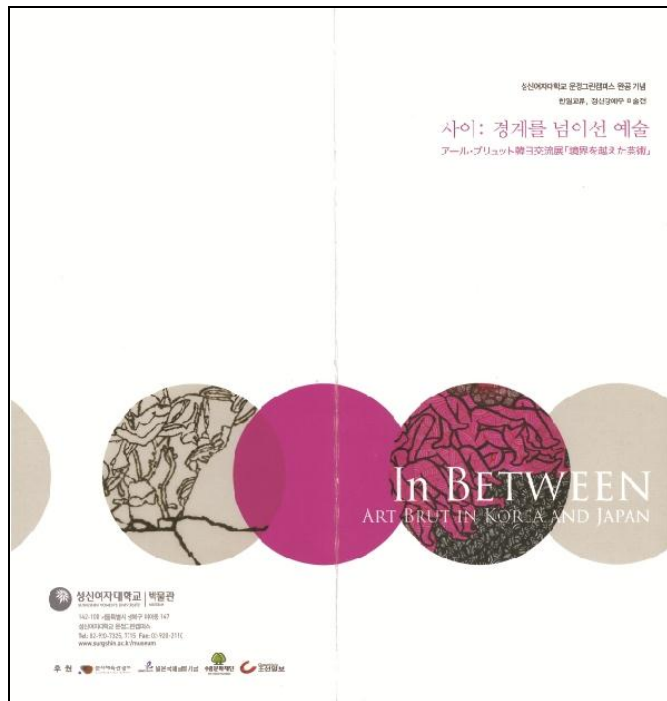
かん こく

韓国:「IN BETWEEN ART BRUT IN KOREA AND JAPAN」

に ほん

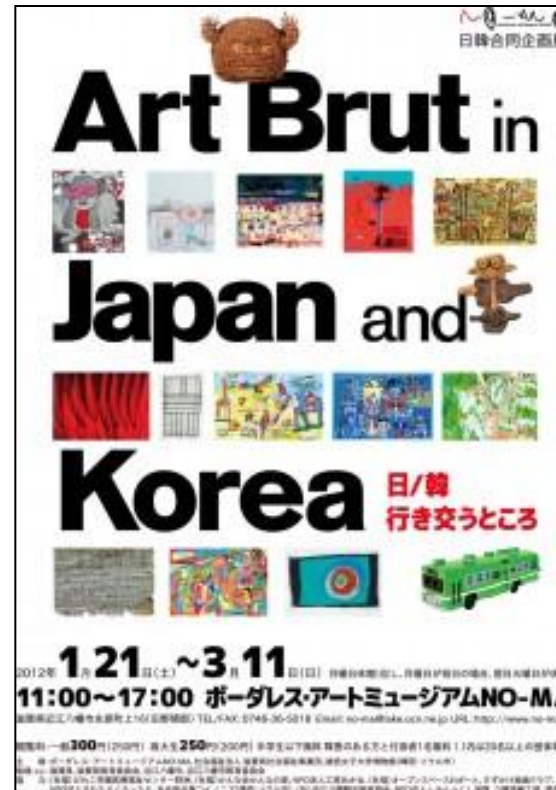
にっ かん い か

日本:「Art Brut in Japan and Korea 日/韓 行き交うところ」



かん こく

韓国 ソウル



し が けん

滋賀県

さく ひん ちょう さ

作品調査をきっかけ

げん ち

かん けい だん

として現地の関係団

たい れん けい

ごう どう き

体と連携し、合同企

かく てん かい さい

画展を開催。

作者の権利保護の取り組み

展覧会出展と成年後見制度

アール・ブリュット・ジャポネ展が契機となる

これまでは出展の意思を確認すること、ご自身での契約が難しい作者についてはご家族や所属施設・病院のスタッフから了解を得ていたがそれでは本人が契約したことにならないとの弁護士からの指摘。

美術館からの申し入れ

「出展にあたっては、作家個人と
出展契約を締結する」

展覧会開催後に想定されること

- 他の展覧会への出展依頼
 - 作品の二次使用のオファー
 - 作品の売買のオファー
- 等の所有権・著作権に関すること

成年後見制度の活用

さく しゃ けんり ほ ご と く
作者の権利保護の取り組み

てん らん かい しゅってん せい ねん こう けん せい ど かつ よう い ぎ

展覧会出展と成年後見制度活用の意義 (アール・ブリュット・ジャポネ展説明会資料)

てん せつめいかい し りょう

いま
今までの主な
申立て理由

い さん ぶん かつ きょう ぎ
遺産分割協議のため

あく とく しょうほう ひ がい まも
悪徳商法の被害から守るため

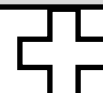
ほん にん よ ちょ きん とり ひき かん
本人の預貯金の取引に関して
ぎん こう きび
銀行が厳しくなったため

しゅってん けい やく むす
出展契約を結ぶため

き ねん ず ろく しゅう いっぱん しょせき ほん にん しゃ
記念図録集(一般書籍)への本人写
しん さくひん しゃ しん けいさい
真、作品写真の掲載のため

さくひん に じ り よう せいさく
作品の二次利用(グッズの制作)
かん けい やく
に関する契約のため

ほん にん むずか はん
●本人では難しい判
だん て つづ し えん
断や手続きを支援
ほん にん り えき けん り
●本人を利益(権利)
しん がい まも
侵害から守る



ほん にん も か のう
●本人の持つ可能
せい のう りょく の
性・能力をさらに伸
ばす
じ ぶん み らい ひら
●自分の未来を拓い
ていく

てん らん かい
今回の
展覧会で、
申立てが必
要な理由

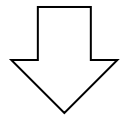
造形活動支援拠点の設置

「県内における造形活動の実施状況に関する調査」
(平成 23 年 8 月滋賀県実施)

造形活動を行っている」と回答したのは 61 の障害福祉サービス事業所。

全体の 42 %。(※ 199 事業所中回答数 145 (回収率 73 %))

そのうち造形活動で行う上で「困っていることがある」と回答した事業所は 74 %。そのうち、56 %が「相談や情報交換ができる場」の設置を望んでいる。



この調査結果を受け、滋賀県の具体的取り組みとして

平成 24 年 6 月 **アール・ブリュット インフォメーション & サポートセンター(略称アイサ)**が滋賀県社会福祉事業団企画事業部内に開設される。

アイサに寄せられた相談の分類

(総活動数 203回 平成24年6月～平成25年3月)

アイサの活動キーワード

「つくる」 作品をつくる、展覧会をつくるなど関する必要な情報を提供

「つながる」 作品を出展したい、造形現場を見てみたいなど作者と社会がつながることをサポート

「まもる」 作者の権利が保護され、安心して造形活動に取り組めるようサポート

【県内・県外別】
滋賀県内 105回
滋賀県外 98回

【相談者別】

作者・家族等 40回
障害福祉施設 50回
国・自治体 38回
美術館等 14回
報道・企業 37回
一般市民 12回
その他 12回

【相談内容別】
展示機会等の情報提供 24回
展覧会開催への助言 38回
造形活動への情報提供 13回
作品出展(利用)の仲介等 72回
作者取材、施設訪問等に関する仲介等 15回
権利保護に関する助言 23回
その他 18回

○滋賀県外からの相談が全体の約半数を占めている
○作者や家族等から展示機会を求める相談が多いが地域によっては資源がない場合がある
○障害福祉サービス事業所からは権利保護に関する相談が比較的多い

の ま と く
NO-MAやアイサの取り組みから
み か だい
見る課題

の ま と く み か だい NO-MA、アイサの取り組みから見る課題

① 作品収蔵の手段と方法の確立

- ・収蔵場所の確保
- ・収蔵作品の選定方法の確立

② 相談支援機能の充実

- ・造形活動や作品展示の機会に関する情報提供(全国的な情報の集積)

- ・身近な地域で相談できる仕組み

③ 作者の権利に関する啓発

- ・著作権等に配慮した作品(著作物)利用の方法や障害福祉サービス事業所での造形活動における著作権等保護に関する啓発

④ 人材の育成

- ・障害者等の芸術活動を支える人材の育成
- ・作品の評価、発信を行う人材の育成

の ま と く み か だい NO-MA、アイサの取り組みから見る課題

⑤ 関係者間の交流支援

- ・障害者の造形活動支援について情報交換ができる障害福祉サービス事業所や病院等のネットワークの構築
- ・芸術分野の人材との出会いの場づくり(福祉と芸術の相互活用)

⑥ 芸術活動への参加促進

- ・障害者が芸術活動に参加する(始めようとする)ための情報提供
- ・公募展の実施、既存の公募展の活用(発表の場の確保)

⑦ 障害者にとどまらない取り組み

- ・障害や高齢などの属性にしばられない横断的な取り組みを可能とする仕組み

か だい えいぞくてき と く たいせい ひつよう あんてい
これらの課題に永続的に取り組むことのできる体制が必要(安定した
うんえい
運営)